



梅雨どきから夏にかけて、夏カゼ(ヘルパンギーナ)、手足口病、咽頭結膜熱(プール熱)などが、発生しやすくなります。生活リズムを崩さないように充分休養を取り、バランスのよい食事を摂って体力をつけて予防しましょう。

5月は、朝夕の寒暖の差が激しい日が多く、乳児に下痢・嘔吐(感染性胃腸炎)が、発生しました。流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)は、まだ、潜伏期間内ですので注意が必要です。

保健行事

歯科検診 6月5日(火)午前9:30より 全クラス対象

カラーテスター(歯の汚れている部分を染める) 4才=6月6日(火) 5才=6月15日(金)

0才児健診 6月13日(水) 26日(火) 午後2時30分～ 嘱託医の吉崎先生による内科的健診です。地域の方もぜひお子さんと一緒にお越し下さい。身長・体重測定もしています。

視力検査 4才=6月27日(水) 5才=6月28日(木)

歯の表彰について

保育園における歯科検診の目的は、早期発見、早期治療です。園においては、子どもの心身の健康を守ることと、幼児(4才児)からは、自分で守ろうと思う意識をもってもらうために下記の『歯の表彰』を行っています。

- ♥ 『むしばがなかったでしょう』…虫歯がなかった子
- ♥ 『むしばをなおしたでしょう』…検診の結果、虫歯の疑いまたは、虫歯がある場合に歯科通院して、その結果を園に提出した子
- ♥ メダル…カラーテスターを行い、上手にみがけていた子、普段から一生懸命みがいている子
※いずれも4・5才児対象です。3才児に関しては、前期は、歯みがきのスタート期のため後期になってから表彰状の対象となります。



なぜ虫歯になりやすいのか?♥ はえ始めは、歯が固くなくやわらかいから



- ♥ 溝が多いため、食べカスがたまりやすいから
- ♥ はえ始めは、歯が短いので歯ブラシが届き難いから
- ♥ 乳歯が完全にはえるまで、1年近くもかかります



虫歯予防のポイントは

- ♣ 歯の汚れをとる⇒歯みがきは、子どもまかせにしないで大人目で確かめて、みがき残しをきれいにみがいてあげましょう。
- ♣ 食べ物の種類と⇒食事は軟らかい物ばかりでなく、歯ごたえのある物を取り入れましょう。食べ方に注意 おやつは、時間と量を決めてダラダラ食べるのはやめましょう。

園における紫外線対策、熱中症予防対策、及び、夏場の過ごし方について

子どもは細胞分裂が激しく、成長が盛んな時期であり、大人よりも環境に対して敏感であったり、室外で過ごす時間が多いため、太陽光を浴びる機会が多く、子どもの紫外線対策の必要性があると考えています。当園では、新園舎になってから新しい方法を探りつつ、紫外線対策に取り組み始め、夏場は、園庭にテントを張ったり、昨年度は、窓に黒い遮光カーテンをとりつけたりなどの工夫をし、“太陽と仲良く上手に付き合う”ための環境作りを積極的に行なっています。

- ・園庭あそび・園外保育の際は、フラップ付きカラー帽子(0才児は、各個人持ちの帽子を着用しています)を必ず着用しています。
- ・園庭あそびは、午前中の早い時間帯、及び、夕方の日が陰ってきた時間帯に行っています。
- ・夏場は、気温だけでなく日差しにも注意して、園庭遊びやお散歩をするかを決めたりと直射日光を長時間浴びないように配慮しています。
- ・園庭には、冷水ジャグを設置し、いつでも水分補給できるようにしています。
- ・プールや水あそびの時は、希望があれば、水着の上からTシャツや長袖シャツ、ラッシュガードを着用することを個別に受け入れています。お気軽に、ご相談下さい。
- ・今後、園庭をおおう日よけタープと、ベランダ全面にオーニングを取り付け、日陰を作る予定です。
- ・家庭から、日焼け止めクリームを塗ってきて頂いても結構です。保育園では、日焼け止めクリームをお預かりしていますが、肌が弱く、医師の診断を受けたお子さんのみとしていますので、ご了承下さい。(依頼書の提出が必要となります。)



「与薬(軟膏)依頼書」について

今まで、慢性的な湿疹や医師の指示により長期に渡る軟膏の塗布などが必要な場合は、「与薬依頼書」にて、個々にお預かりしていましたが、今後は、「与薬(軟膏)依頼書」に必要な事項を記入して頂き、長期に軟膏の塗布が必要な場合は、原則として毎月始めに職員に手渡しにて預けて下さい。「与薬(軟膏)依頼書」が必要な場合は、担任または、看護師に声をかけて下さい。